



ととうみ

# 里海をめぐる 高校生フォーラム

in  
阪南

日時

2022年7月18日 祝

9:30~12:00 (開場 9:00)

会場

## 阪南まもる館

(阪南市防災コミュニティセンター)

〒599-0202 大阪府阪南市下出 14-3

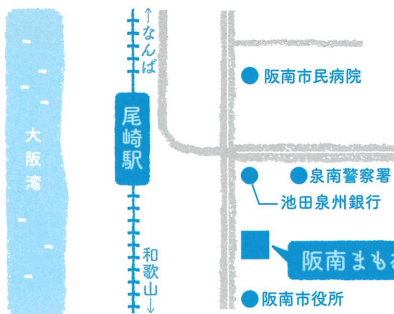
[アクセス] 南海電気鉄道「尾崎駅」より約90m

参加費

## 無料

 (定員50名)

※参加申し込みフォームよりお申し込みください。  
(詳細は裏面をご覧ください)



主催 大阪府阪南市 NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター NPO 法人共存の森ネットワーク

助成

公益財団法人日本財団

Supported by



協力

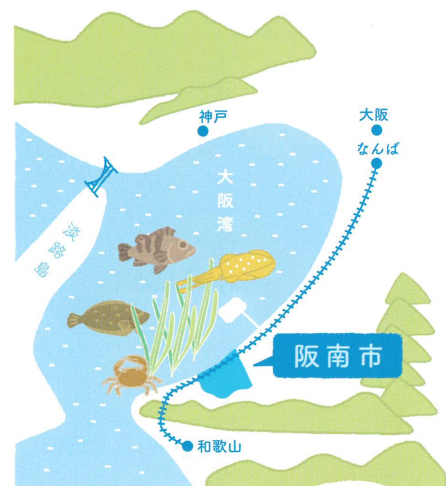
聞き書き甲子園実行委員会  
NPO 法人 海辺つくり研究会

# 大

阪湾に面した阪南市は、人々の暮らしのすぐ近くに山・里・海があり、人々は、その豊かさや恵みを日々感じながら暮らしています。

阪南の沿岸域には、大阪湾では数少ないアマモの自生地があり、その保全・再生活動を、地元漁協や企業、市民、学校が連携して行っています。2018年には、『全国アマモサミット』を誘致して開催。全国の高校生が活動発表を行う『海辺の自然再生・高校生サミット』も併催し、阪南の海の保全・再生活動については、関西大学北陽高等学校の生徒が発表を行いました。また、去年は、日本各地の森・川・海の「名人」を高校生が訪ね、「聞き書き」する『聞き書き甲子園』の開催に阪南市も協力。市内3つの漁協に所属する漁師7名を高校生がインタビューし、その知恵や技、人生を作品にまとめました。

このフォーラムでは、それぞれの活動に参加した高校生が登壇し、活動によって得られた知見やその成果を発表します。阪南の海を守り、再生する様々な活動を発信し、活動への理解や共感が広がること、また、海の豊かさを支える漁師の仕事への関心がより深まることを期待しています。



## GUEST PROFILE

### 木村 尚 きむら・たかし

NPO 法人海辺つくり研究会 理事・事務局長

1956年生まれ。東海大学海洋学部卒業。NPO 法人海辺つくり研究会理事・事務局長の他、東京湾を子どもたちが泳げる豊かで美しい海にしたいと考え、東京湾の環境やまちづくりに関連する多数の市民活動にも協力している。主な著書は『都会の里海・東京湾』、『森里川海をつなぐ自然再生』（共著）等。現在、日本テレビ系列「ザ！鉄腕！DASH!!-DASH海岸-」にレギュラー出演中。



### 岩井 克巳 いわい・かつみ

NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター専務理事

1965年生まれ。東海大学海洋学部卒業。(株)MacS代表取締役、日本ミクニヤ(株)専務取締役。阪南市を中心とした大阪府南部の泉州地域で、アマモ場再生を核とした海洋教育、カキ小屋を核とした浜の活力再生を指導・実践。NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター専務理事の他、NPO 法人環境教育技術振興会理事、大阪湾見守りネット理事、NPO 法人海辺つくり研究会監事を務める。



## プログラム

9:30 開会

9:35 阪南市長 挨拶

9:40 阪南の海の活動について(阪南市)

9:50 「海辺の自然再生・高校生サミット」と「聞き書き甲子園」の活動紹介

9:55 高校生の「海辺の自然再生活動」報告

10:25 質疑

(10:35 休憩)

10:40 海の名人と高校生の「聞き書き甲子園」体験談

〔聞き手〕木村尚(海辺つくり研究会)

岩井克巳(大阪湾沿岸域環境創造センター)

11:55 閉会

(12:00 終了)

## 「聞き書き甲子園」とは？

「聞き書き甲子園」は、全国の高校生が、森・川・海の「名人」を訪ね、一対一の対話によって、その知恵や技、生き方を「聞き書き」し、記録・発信する活動です。名人の職業は、樵や炭焼き、木工職人、漁師、海女などさまざま。高校生は、名人が大切にしてきた、自然とともに生きる知恵や技術、そして心をいねいに聞いていきます。平成14年の開始以来、のべ約1900名の高校生が参加しました。

令和元年度(第18回)からは、名人の推薦と取材の受入れに協力いただく市町村(地域)を公募して実施しています。昨年度行われた「第20回聞き書き甲子園」では、阪南市の7名の「海の名人」(ワカメ・ノリ養殖、底引き網漁、流し網漁・刺し網漁・定置網漁に従事)に聞き書きしました。

(詳細はこちら) <https://www.kikigaki.net/>

## 「海辺の自然再生・高校生サミット」とは？

アマモは、日本各地の砂泥に生息する海草の一種で、その群落によって形成されるアマモ場は「海のゆりかご」と言われるように、魚の産卵や稚魚の成育の場として重要でした。経済成長に伴う沿岸海域の開発などにより、急速に失われたアマモ場を再生する活動が各地で行われています。また、アマモ場に限らず、海辺の自然再生には、藻場・干潟・サンゴ礁など、その地の生態系に応じて、自然・社会両方の側面からの多様な試みが必要です。

「海辺の自然再生・高校生サミット」は、海辺の自然再生に取り組む高校生が、日頃の活動や研究成果を発表し、意見交換を行う場です。毎年全国各地で行われている「全国アマモサミット」の一部のプログラムとして行われています。本年度は、千葉県館山市で、10月に開催する予定です。公式HPでは、同サミットで発表する高校を随時募集しています。

(詳細はこちら) <https://amamo-summit.net/>



## 申込方法

下記の参加申し込みフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/hwXdfWE4GpvBaWK29>

## 問い合わせ先

## NPO 法人共存の森ネットワーク事務局

〒156-0043 東京都世田谷区松原 1-11-26 コスモリヴェール松原301 TEL:03-6432-6580 mori@kyouzon.org

